

令和5年度 第3回徳島県西部地域医療構想調整会議 議事録

日 時：令和5年10月25日（水）19：00～20：30

場 所：（Web開催） ※事務局等は県庁201会議室

出席者：出席15名、欠席4名

協議事項1 第8次徳島県保健医療計画における「外来医療計画（案）」について

（安宅議長）

委員の皆さま、大変お忙しい中、お集まり頂きありがとうございます。

本日の調整会議では、今年度、県において策定作業を進めております第8次徳島県保健医療計画の中、外来医療計画の案につきまして、事務局からご説明を頂き、協議を行いたいと考えております。

また、現在、総務省からの要請に基づき、各公立病院で策定作業が進められている公立病院経営強化プランにつきまして、本日は半田病院からご説明を頂く事としております。

当該プランにつきましては、病院の具体的な対応方針として調整会議で協議を行う事が求められております。皆様のご意見を頂きたいと考えております。

委員の皆さまにおかれましては、本日の議事運営にご協力賜りますようよろしくお願い致します。

それでは、議事に移らせていただきます。協議事項1の第8次徳島県保健医療計画における外来医療計画案について、事務局よりご説明をお願いします。

（事務局）

資料1、資料2-1～資料2-3により説明

（安宅議長）

ありがとうございました。

ただ今の事務局のご説明につきまして、ご意見・ご質問等ございましたらよろしくをお願いします。

（各委員）

質疑なし

（安宅議長）

ご質問は無いようですので、ありがとうございました。

それでは続きまして、協議事項の2に進みたいと思いますが、その前に事務局から連絡がございます。

（事務局）

次の協議事項2につきましては、非公開とさせて頂きたいと考えておりますので、恐れ入りますが、委員と事務局以外の方はZoom会議からご退室くださいますようお願い致します。

委員の皆さま、退出確認を行いますので少々お待ち頂ければと思います。

協議事項2 つるぎ町立半田病院の経営強化プランについて

※協議内容については非公開

(安宅議長)

それでは、本日の協議事項はすべて終了いたしました。その他何かご意見等ございましたらお願いしたいと思います。

(鎌村統括監)

保健福祉部の鎌村です。色々ご協議頂きまして、本当にありがとうございます。

お忙しい中、須藤先生からもプレゼン頂きました。少しこちらからの説明であったり、補足といいますか、少し付け加えと情報提供をさせて頂きたいと思います。

これ一番最初に作った時からそうですし、今回もご意見を頂いた通りなんですけれども、この外来医療計画におきます外来医師偏在指標、まあ、色々な偏在指標が出されているところなんですけれども、特にこの外来医師偏在指標については、やはりこの日本全体であくまで不足している、医師が不足している地域における指標と我々は考えております。

その指標をもとに何とか外来をして頂ける医師を確保していくための考え方。そして、もう1つは、やはり都市部での新規開業の際に、学校医であったり色々足りないところを補って頂く、やって頂く為のそういう要件を課すためのところもあるのかなど。

ですから、すでに、地方の方で医師が多いとされてしまっているところ、そういうところにはこういうものはあんまり関係無く、やはりこういう偏在指標においても、元々の考え方に僻地等の地理的条件を考えると言いながら、そういった事は考慮されていないというところにも現れているのかなど我々は考えているというふうなことを県、行政が言うとやはりちょっとおかしくなってしまうのかも分かりませんが、色々な偏在指標を国の方が必要医師数として出している考え方自体も本県にとってはやはり問題であるというのは、厚労省とずっとやりあってきているところでもありますので、やはりその地域、本県に応じた形での医師確保対策というようなものも進めながらというところではあるのですけれども、やはりちょっとショックところところとして、これは県西部、県南部とかだけでなく、県内の若い医師、先程のグラフにもありましたように、40、50代と比べると、20代、30代が、明らかに少ないのです。減っています。臨床研修医のマッチングが減っています。

今、中間公表もこれまでの最低の31人で、明日の午後2時に最終マッチングの結果が公表されます。まあ本当にそういうところからいきますとまず県内に残っていないというふうなところですよ。

まず、県内に残って貰わないと地域にも行きようがないですし、入局者もないというのが実態です。何とか本当に県としても、臨床研修病院としても、地域の病院にしても、残ってもらう為に本当に努力しているところなんですけれども、何かやはり、魅力と残りたいと感じて貰えるところが足りないのかもしれないという事が出ていますのですけれども、そこに地域枠というふうなものが言われるのですけれども、やはり今地域枠が無かったら、やはり3群の病院とかに勤務する医師は更に不足していた可能性はあるかもしれません。

実際にこれをどんどん増やせば良いというふうな議論はあるのですけれども、増やす検討はしていま

す。ただ、残念な事に徳島県内、子供どんどん減っています。受験生も減っています。徳島大学112人の定員がありますけれども、現実的には3割しかいません。受からないっていうふうな現実があります。

ですので、そういったところで各地域で奨学金を出してというふうな形で本当にそれが出来れば良いのでけれども、現実的には昔、これはここで皆さん方共有をしているからだと思うのですけれども、やはり例えば、地元の高校から何人、本当に医学部へ行っているかというふうなところを見て頂いてもわかりますけれども、そういった環境であったり、色んなところ、そうすると本当に須藤先生に言って頂いた町づくりというところがあると思いますので、本当にそれは、美馬市、つるぎ町、三好市さん、それぞれ独自に地域包括ケア、町づくりのところが非常に熱心にされているのを知っておりますので、この地域医療構想調整会議いう場だけでなく、そういったところでも、本当に行政、3つの自治体さんにも入って頂きながら、是非、検討とか協議を頂き、そういったところからのご意見とかも我々も頂きながら進めていきたいというふうに思っておりますので、どうかよろしくお願い致します。

ちょっと長くなっておりますけれども、あと看護・介護職員の不足が前から色々言われていますが、これも全国的なところなんです、今年度末ですか、来年度に向けてトリプル改定というふうなところで、やはり特に介護報酬のところはどこまで踏み込むのかなというふうなところが、そのまま公定価格ですから、ご存知のようにそこがもう介護職員の給与というところになっていくと思いますので、それぞれの国民の負担とそこの給与っていうふうなところのバランスがどういうふうな今後とられるのか、我々としても注目しておりますし、県としても国に対して要望はしているところです。

すいません、長くなりました。よろしくお願い致します。

(安宅議長)

その他、何かございませんか。

それでは、ご意見も内容ですので、事務局にマイクをお返しします。

(事務局)

安宅議長、委員の皆さま、本日は議事運営にご協力いただきまして、ありがとうございます。最後に1点事務局から事務連絡をさせていただきます。

本日は、半田病院より経営強化プランについてご説明頂き、ご協議を頂きましたが、現在、三野病院におかれましても、プランの今年度中の策定に向け作業を進められていると伺っております。

このため、年が明けました来年の1月中旬から下旬頃に第4回目の西部調整会議を開催させて頂き、三野病院からプランのご説明を頂きたいと考えておりますので、委員の皆さまにはご承知おきいただければと存じます。

会議の開催日につきましては、議長と相談の上、決定次第、委員の皆様にご連絡を差し上げますので、引き続きどうぞよろしくお願い致します。

それでは、以上をもちまして、本日の会議を終了させていただきます。大変お世話になりました。ありがとうございました。

以上